



Good Wood Communication!

かけがいの森から



原泉の山に光が溢れる ～六年間の水源総合整備事業が完了～

本数調整伐の施工面積は五一四ヘクタール

原泉地区において県の治山事業（水源総合整備事業）が平成十五年より六年間をかけ行われ、この三月で事業完了となりました。本事業の中で、スギ・ヒノキ人工林における本数調整伐が、六年間で五一四ヘクタール実施されました。

原泉の森林は人工林・天然林合わせて約二五〇〇ヘクタールありますので、そのうちの約二割が整備されたこととなります。本事業のおかげで、暗く、込んで立ち枯れの発生していた林は、光が溢れる明るい林に生まれ変わりました。



光が溢るスギ・ヒノキ人工林

「真つ暗い山ばっかし」「荒廃森林をどうにかしなくては…」と地域の森林の再生、整備が言われる中、大変意義のある事業であったと思われれます。また、太く真つ直ぐな木が残存木として残り、良質な資源を残していく意味でも意義深いことだったと思います。

掛川市最上流域の山がきれいになり整備されたことで、県民や県の関係者の方々、また、ご協力いただきました森林所有者の皆様方に感謝申し上げます。

当森林組合では、本事業の現地調査・施工をやらせていただきましたが、本年度以降、西之谷地区で予定されている同様事業にも積極的に取り組んでまいります。よろしく願います。

掛川森組あの頃と今

掛川市森林組合一役員「S」

私が役員を受けた17年前の「あの頃」。そして「今」。掛川市森組の変化を私なりに思いま書いてみました。

① 御前崎港

かつては輸入材で港ざっり。量は日本一。輸出自動車 これまた広場いっぱい。今日この頃は？

② 組合の経理

かつては赤字心配。最近はおなかの成績。これは常勤役員と職員の努力の成果。

③ 組合のトラック

かつては一日数回市場往復。次はパルプ材運搬。今はトラック車庫入り。

④ 作業員

かつては地元の年配作業員のみ。賃金稼ぎが大勢。今は熟練の作業員と、パソコンと先端機械を使う大卒の若いインテリ技術職員が一緒に作業。冬春は他組合の人達へ下請け出す。

⑤ 山林

かつては時たま見る皆伐地。今は絶無。それでも各所に聞こえるチェーンソーの音。間伐作業盛ん。すっきりした林地が各所に見える。

⑥ 森組事務所

かつてはお年寄り。(これは失礼 f ^ ^)
今は若い人達がキーボードで朗らかにいっばい。

今日にこれまで。また機会をみて。

大嶽専務 永年勤続功労者表彰受賞 ～職員19年 理事20年～

大嶽明忠専務が永年の勤続と功労をたたえられ、全国森林組合連合会長表彰（県森連榛村会長代読）を受けられました。1970年に職員として就職され、1989年から専務を勤められています。約40年の歳月、その力を森林組合に傾注してこられました。



不況の影響材価にじわり ～需要不振で国産丸太が全国的に下落基調～

2月に入り材価が下がっている。先月比約10%程度の下落だ。不況の影響が国産丸太価格にも波及してきた結果だ。住宅着工戸数の落ち込み、円高ドル安による輸入材の海上輸送コストが低下、さらに暖冬で各地の伐採作業が順調に行われて、供給が増えたことなどが主な原因だと思われる。丸太の売り上げは森林組合にとって重要な要素であり、厳しさを感じずにはられない。



山で集材した丸太
置いてある間に値が下がる

ヒノキ、よいよい柱に

広報誌9号で紹介させていただいた萩間のMさんの家のヒノキが、いよいよ柱として次の一生をスタートさせました。元玉は玄関の七寸の大黒柱に、一番玉は節の模様を活かして床柱に。二本の柱が新築の家の中で、存在感を示していました。

(取材にご協力いただきましたMさん、ありがとうございました。)



森林組合からのお知らせ

●静岡大学農学部が見学に訪れました

昨年 12 月 18 日に静大農学部の学生 13 名が造林学の実習で当組合を訪れました。「森林組合とは」



「境界管理について」「集材作業の実際」という内容で一日見学されていました。

●第3回 目立て講習会開催しました

1 月 31 日、今回は 11 名の方に参加していただきました。皆さんよく切れる刃ができたようです。



●新たな若い力が加わりました！

4 月、遠藤基さんが現場スタッフに加わりました。下垂木出身の 30 歳。

趣味はバスケットボールと書道！

念願の林業職ということで活躍を期待しています！



スギのつよやき ~花粉出してゴメン~

スギの私は春先になると皆さんに大変疎まれ、肩身の狭い思いをして、細くなっています。でも強い風に吹かれるとやむをえず花粉を大飛散させてしまいます。ゴメン。でも、もともとは皆さんが、私を建築材料として評価し、沢山植えてくれたんですから、あんまり悪者扱いばかりしないでくださいね。

最近では花粉症対策で雄花の付いた枝を伐る事業があったり、花粉の出ないスギの開発がなされたりしているみたいですが、こんなに沢山植わっているのだから、ちょっとのことでは花粉の量を減らすことなんて出来ませんよ。



一番いいのは、皆さんがスギ材を沢山使ってくれること。そうすれば花粉の少ないものにも替わっていくこともできるのに・・・

掛川市は、面積の多くを森林が占める。また近年、森林や自然とのふれあいが重視されたり、森林の温暖化ガス吸収源としての機能や水土保持の機能が評価されたりしている。そのような中で、「森林」の文字が消えることは残念に思う。

平成二十年度 事業完了報告

平成二十年度、様々な仕事に取り組んでまいりました。その中の二つの事業について完了報告をいたします。

栗ヶ岳「茶」文字整備事業

いよいよ六月に開港となる静岡空港。飛行機はまっすく栗ヶ岳に向かって飛び立つというところで、栗ヶ岳の「茶」文字は、東山の茶、掛川の茶、静岡の茶をPRするに最高のシンボルとなります。

栗ヶ岳の茶文字は、昭和六十年に地元東山の方々が植栽した八百本余のヒノキで形作られています。近年、木の成長により枝が茂り、少しぼやけた字になっていました。これを細くすっきりと見せるための事業が掛川市から発注され、施業の提案を含め、森林組合で施工をさせていただきました。(尾崎)

Before
After

空港利用の際、また島田方面にお出かけの際は、ぜひ「すっきりした茶」文字を覚えてください。

山村境界保全事業(上西之谷)

本年度は上西之谷地区の山林 133 ヘクタールで実施し、二月に無事事業が終了しました。

立会いに基づいて現地にプラスチック杭を設置し、GPSやデジタルコンパスを使って測量を行い、図面等を作成しました。境界杭の情報パソコンに保存されたこと、そして境界点に対する所有者様の同意のサインをいただいたことで、次世代への山の引き継ぎが安心して行えるようになったと思います。関係地権者、及び地元住民の皆様には多大なご協力をいただきましてありがとうございました。

境界の明確化は森林整備や資源の有効活用につながります。今回も境界立会いで山主さんのお顔を拝見し、意向が伺えたことで、間伐などの森林整備に発展させていきたいと思います。

これからも貴重な資源である皆様の山林をより良い状態にすべく努めます。今後ともご協力をお願いします。(吉野)

“これいい!” 購買担当「藍ちゃん」の オススメGOODS!!

アルミー一本はしご
2段 (3.6m) ¥29,400 -

枝打ちなどに便利な、アルミ製のはしごです。軽いので持ち運び楽々！
茶文字の整備でも大活躍しました♪

しいたけ種駒 完売しました！
売上数 184袋 (1000個入)

今年は、例年よりもたくさんの方にお買い上げいただきました！
ありがとうございました！！

組合員さまへお願い

相続等で所有山林に移動(相続・取得・売却)が生じた際は森林組合へご一報ください。組合員名簿および出資証券の名義変更が必要です。

市役所から「林」の文字が消える

平成二十一年度から市役所の組織の名前が変わり、その際「林」の文字が組織の中から消えるという。森林整備や林道、森林病虫害などの林務を担当していたのが「農業振興課森林係」であるが、今回、「森林係」は廃止で、これらの業務は「農村振興係」が担当することになる。

昨年は「農林課」が「農業振興課」となり、課名から「林」の文字が消え、また今年「森林」の文字が消える。掛川市内で森林業を営む私たちにっては、少し苦い感じのことである。

掛川市は、面積の多くを森林が占める。また近年、森林や自然とのふれあいが重視されたり、森林の温暖化ガス吸収源としての機能や水土保持の機能が評価されたりしている。そのような中で、「森林」の文字が消えることは残念に思う。

ひとこと

原泉小学校の桜が、今年もきれいに花を咲かせ、最後の新1年生を迎える準備をしています。1年後の西郷小との統合を控え、跡地活用の議論が今後本格化しそうです。

掛川市森林組合

TEL 0537-25-2111 E-mail kakemori@vc.tnc.ne.jp